

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	令和6年度 第2回 嬉野市総合戦略推進委員会		
開催日時	令和6年11月28日(木) 10:00～11:00		
開催場所	嬉野市塩田公民館2階 視聴覚室		
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員 (敬称略)	戸田順一郎、西川潤一、石川政広、鶴田英樹、山下勝一郎 深村頌子	
	事務局	総合戦略推進部長、企画政策課長、副課長、主査	
	その他		
会議の議題	① 委員長あいさつ ② 今後の総合戦略改訂に向けた進め方について ③ その他		
配布資料	① 令和6年度第2回嬉野市総合戦略推進委員会次第 ② 令和6年度（第2回）嬉野市総合戦略推進委員会		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	1. 今後の総合戦略改訂に向けた進め方について		
内 容	1. 事務局より説明。委員質問・事務局回答、委員の意見等		
審議経過	事務局	(資料を基に説明) 1. 他自治体の状況について【総合計画・総合戦略の一体的な策定に関して】 1 県・9 市の状況を調査 ●佐賀県 一体的な策定○ 総合計画の関係部分を総合戦略として位置づけてあるが、総合計画の参考資料という取り扱いであり、あくまで別物。 ●佐賀市 一体的な策定○ 総合計画の実施計画が総合戦略であるという位置づけ。実施計画の変更に関しては議決事項に当たらない旨を議会へ確認済。 ●唐津市 一体的な策定○ 総合計画に総合戦略の内容を含む。佐賀県と似たような取り扱い。毎年のマイナーチェンジ（改訂）は想定していない。 ●鳥栖市 一体的な策定× ●多久市 一体的な策定○ 総合戦略は、総合計画のうち、人口減少・地方創生関連に特化した計画という位置づけ。 ●伊万里市 一体的な策定× ●武雄市 一体的な策定× 総合計画の策定なし。 ●鹿島市 一体的な策定○ 総合戦略は、総合計画のうち、「しごとづくり」「ひとづくり」「まちづくり」に特化した計画。	

●小城市
一体的な策定○

R8 からの次期計画において総合計画との一体的に策定予定。

●神崎市
一体的な策定×

●1 県・9 市の10 自治体のうち、
一体的に策定・・・6 自治体
一体的策定なし・・・4 自治体

※約半数の自治体が総合計画と一体的に策定をしている。そもそも計画期間のサイクルが合わない则一体的に策定することが難しい。総合計画については策定・改定の際に議会の議決が必要となる。総合戦略・総合計画を一体的に策定した場合の各自治体の総合戦略の位置づけとしては、

- ・あくまで別物。参考資料として整理。
- ・総合計画の実施計画＝総合戦略。事前に議会へ申し入れて実施計画の変更は、議決事項に該当しないことを確認済。
- ・そもそも毎年のマイナーチェンジ（改訂）を想定していない。中間年度での見直しの際に検討。

2. 嬉野市の状況について

●総合計画

計画期間：2018 (H30) 年度～2025 (R7) 年度 8 年間

●総合戦略

計画期間：2020 (R2) 年度～2024 (R6) 年度 5 年間

※これまでは、指標等について同じもの・似通ったものを設定し、総合戦略・総合計画で各々効果検証をしてきた。このため、本市としても総合計画のスリム化を図り、現在の社会情勢の変化に柔軟に対応するための計画を総合戦略と一体的に策定したい。

このため...

総合戦略の計画期間を2 年間延長（R8 年度まで）し、R7 年度～R8 年度9 月末までに第3 期総合戦略・第3 次総合計画を策定する計画としたい。

※第3 期総合戦略・第3 次総合計画については、R8.9 月議会上程予定。R8.10 月からスタート。総合戦略については、デジ田交付金交付申請との兼ね合いにより空白期間を生じないよう現計画を2 年間延長したい。

目標設定（KPI）については R8 年度の途中から第3 期へ移行するため R7 年度までの設定としたい。

※R7 年度までの設定としたいとしているが、計画期間と合わせ R8 年度までの設定とする。

	3. 今後の進め方について ①第2期総合戦略計画期間を2年間延長 ②計画期間延長に伴い、第2期総合戦略推進委員の皆様へ委嘱状交付 ※R8.9月中には策定するので、委員任期としては1.5年間延長することを想定 ③ R8年度中（R8.9月一杯を想定）第3期総合戦略を策定 ※同時に第3次総合計画も併せて一体的に策定 ④ R8.10.1（予定）～第3期総合戦略スタート ※総合戦略の位置づけとして、第3期総合戦略＝第3次総合計画実施計画としたい。事務局としては、考え方として最も整理されているように思う。先ほどから議決についての話もしているが、現状、総合計画実施計画は議決案件となっていない。が、その時々の方の考え方によると思うので、その都度判断される。 捕捉説明として、総合計画についてですが、嬉野市の将来像とそれを実現していくための基本的な方針を定めるものであり、嬉野市のまちづくりの最上位計画である。今現在、第2次計画。平成18年の合併から10年間の計画で第1次計画を策定。第2次計画は平成30年度から8年間。8年間となった理由は市長任期に合わせた制度設計とするため。各市町、総合計画については色々な考え方があるが必ずしも策定が義務付けられているものでもない。他の部分で補完できると判断されれば策定されていない自治体もある。嬉野市としては、中核の計画として立てていこうとしている。第2期は「歓声が響きあう嬉野市」というものを掲げ、その下に各分野別の計画を立てているものである。総合戦略はご承知の通りだと思うが、平成27年当時地方の人口減が問題となり、これに対応する計画を作ろうということで始まり、ほぼ全部の自治体がこの計画を立てている状況にある。国の補助金・交付金を受ける上では必須の計画となっている。 4. 策定イメージ 第2次計画においては、三角の総合計画、丸の総合戦略、各々があり、計画として重複する部分がある。 策定予定の第3次計画は三角の一部が総合計画、三角の下に丸の総合戦略、があり、総合戦略＝総合計画実施計画である。 5. 想定スケジュール 資料10P目とおり。R7.5月頃より着手し、R8.9月議会に上程予定。R8.10月からスタート。 6. その他 ここからは、お願いですが... 総合戦略・総合計画の一体的な策定を考慮すれば、総合計画審議会委員についても委員を兼任いただくのが最もスムーズであると考え。総合戦略推進委員8名＋α＝総合計画審議会委員 14名想定としているが、＋αの部分については、現総合戦略推進委員においてカバーできない分野から数名選出することを想定。今後決めていく。
--	--

		総合計画審議会委員＝次期総合戦略推進委員 としたい。 ※兼任がどうしても難しい場合は、事務局までご相談ください。 ご検討よろしく願いいたします。
	議長	総合戦略のあり方を大きく変えようという、そのためにどのようなあり方が良いのかということをご検討いただきまして提案いただいたのが今回の説明だと思えます。まだ確定していないこともありますし、この委員会では出てこなかった事項等もございますので、どんなことでも結構です、ご意見、ご質問いただければと思います。
	委員	概ね言うことはないんですけど、計画と戦略の位置づけについて、計画はより概念的なものによっていって、戦略は実施プランの方によっていくということで良いのですよね？数字の部分での重なりを極力省いていって切り分けをしていくということですよね？
	事務局	おっしゃる通りです。今の総合計画第2次後期計画の中におきましては、個別分野の効果検証については分野ごとの計画において実施するという整理となっていて、総合計画の指標としては、幸福度であったり、市民満足度といった大きなところでの指標をとることとなっています。（一体的に策定するための）下準備はできているかと思えます。より実効性をもった計画は総合戦略となりますので、総合戦略を総合計画の実施計画としての位置づけで整理して進めていけたらと考えています。その意味でいけば、今までは「まち・ひと・しごと創生」の部分だけであったが、総合計画となれば範囲がもうちょっと広がります。今まで総合戦略に入らなかった例えば人権だったりそういった部分がプラスアルファとなるイメージでございます。すそ野が広がるイメージです。
	委員	理解を深めたいということで、今一度ご説明いただきたいのは、7P 目の中ほどに「計画と戦略を一体的に策定したい」という方向の中で一体的に策定することによって「現在の社会情勢の変化に柔軟に対応するため」と書いてありますけど具体的な一体的に策定することによってどのようなことで社会情勢の変化に柔軟に対応できることになるのか？という点と 9P 目の実施計画を第3期総合戦略として捉えた場合、より実効性を持たせて実施していくと書いてあるが、一体的に策定することで実効性が高まるのか？教えてもらえたらなと思ったのが2点でした。
	事務局	ありがとうございます。その部分で言いますと一体的に策定するということよりイメージとしては、今は総合戦略を策定し実施しているというところで、総合戦略は毎年改訂をしたり、その時々々の社会情勢の動きを柔軟に捉えるというところでちょっとずつ改訂しながら進めていっているというところで、ここの表記につきましては、そういった総合戦略の動き方をイメージしています。どちらかと言えば一体的ということより総合戦略のイメージで記載させてもらっているところでもあります。総合計画後期計画の中では個別計画の中において効果検証するといった説明をさせてもらっていますが、総合計画前期計画の中では指標の部分での総合戦略とのダブリだったり、総合戦略と似通ったものを設定したりとかがあったのでそういった部分でのスリム化を図りたいというところではご説明させてもらっています。そうしたところでダブリを無くして、より実効性を持たせるといった

		部分は総合戦略の考え方ということになりますが、社会の動きに合わせてながら改訂しながら実施していくのが総合戦略です。という意味合いで記載させてもらっていますので、直接的に一体的に策定することでの関係性があるのかと言われたらあまり関係はないのかもしれませんが。 実施計画のこれまでの位置づけは、外部委員会を開催しての効果検証は特に行っていないくてどちらかと言えば、実施計画につきましては各課での進捗だったり各課の取り組み具合とか内部で検証する形でありました。それを総合戦略に置き換えることで検証の部分は外部委員会で行うこととなります。ここ数年でのDXの部分は総合計画になかった毎年はできなかった部分となります。総合戦略はどちらかといえば機動性があると言いますか、ここで検討いただいた部分は次年度に反映できる形でできたので、その辺りを組み合わせて上手く推進できたらというのが今回のねらいということであります。
	議長	関連の質問で。まだ見ぬ第3期総合戦略のイメージについて教えていただきたいのですが、実施計画を第3期総合戦略にするんだというのが提案なんですけども、イメージとして現行の実施計画的なものに総合戦略が寄っていくのか、総合戦略に実施計画が寄っていくのかどちら？
	事務局	イメージとしては総合戦略に実施計画を寄せた形で考えています。
	議長	今の総合戦略をイメージ？
	事務局	はい。総合戦略がベースなんですけど、戦略についての前段の全体的な話は総合計画の基本構想・基本計画的な部分の話もあるのかなと思いますが、そちらの部分は基本構想・基本計画でやりますという形になると思いますので、前段はシンプルな形になるのかなと思います。その後の内容につきましては、柱立てをした中での実際の具体的な施策だったり目標値だったりが出てくる形になるのかなとイメージしています。
	議長	総合計画の実施計画をあんまり見た記憶がないのですが、総合計画の実施計画の抽象度というか具体性のレベルと、総合戦略に書かれている具体性のレベルはどうですか？総合戦略の方もそこまで具体的ではないのかなと、抽象度が高い表現もあるので、現状の実施計画と比較してどの程度になるのか？
	事務局	その部分で言いますと実施計画はエクセルシート1枚でそこに計画、この計画に紐づく施策はこうです、その施策に対しての目標が4年間あります、それに対して年度ごとに自己評価をする形となっています。実施計画の方が具体的と言うか、計画に対して紐づく施策という整理となっています。
	議長	だとすると、今度の総合戦略はより具体的なことが書き込まれることになるのですか？
	事務局	それでいけば現在の実施計画より抽象度は上がる形になろうかと思います。どちらかと言えば今の総合戦略に寄せた形で抽象度は高くなるんでしょうが、内容的にはシンプルになるイメージで考えています。

議長	それで、総合計画の実施計画としての役割はそれでもかまわないのですか？抽象度が上がって。
事務局	実際、効果検証については、また別に検証シートを作成する形で整理していく形となろうかと思うので、やっていることについてはあまり変わりはないのかなと考えています。 実際効果検証していく分については、イメージとしては総合戦略の検証の様な形かなと思います。総合戦略の具体的な部分ありますけど、例えば実施計画であつたら抽象的な部分でもう一步踏み込んだところで～事業みたいな形の進捗度とかそういった部分になるかだと思います。外部委員会で効果検証するにはあまりにもボリュームがあり過ぎるため各課での検証、計画を達成するためにこの事業を実施していくといった計画の進捗とか、スケジュール等の事業の達成度はある程度各課で行ってもらふことになると思う。
議長	検証のあり方を工夫しなければならなくなるということですね。この場で行うのと、内部的に行うものが2段階えというかすみ分けを考えなくてはいけなくなる？
事務局	今ご指摘受けた部分については、各課にもその辺の認識を持ってもらって事業を行ってもらふ具体的な施策を進める事業を立案するということは検証の部分と各課で進めるものと意識づけをして事業推進していくことで整理していこうと思います。今日お話しいただいた中でヒントを得られたと思います。
委員	今受けたイメージが、計画の方は各課でこういう事業を行う、こういう活動を行って結果こういった効果を発揮させるという目標を立てられて、行動の実施度、例えば3段階で評価して3段階目まで行きましたといったことが課内での評価。結果に対しての評価をこちらで行うというので良いですかね？
事務局	大きくはそうなると思います。その目標を具体的に達成をしたという自己評価がでていますけども、どういった事業を行ったことででしたかという部分を議論いただいて...
委員	多分、こういう行動をとったことでこういう結果がでたがイコールでない場合がでてくると思うので、その場合に出てきた数値に基づいて活動計画を修正して内部でもう一度検証していくという形になるわけですかね？
事務局	そうですね。そこら辺は今後、新たな部分で模索していくとは思いますが、各課、各分野ごとの事業の総合計画・総合戦略の管理の部分としてこうあって欲しいという部分は提示したり、指導したりとりまとめ課としてはその辺は必要かと思います。
委員	そこ自体も計画に入ってくるということですね。
議長	見直しを考える前提となったことの一つに総合計画と総合戦略で重なっている部分があつたんで今回それを解消できるのであれば、各課に取り組んでもらふこと検証してもらふことについての説明もしやすくなると思いますので、いい形をつくれればなと。

事務局	そのこの部分の負担というか、各課におけるすみ分け的な部分の話もスッキリして進めやすいのかなと思います。
委員	確認の意味でもなんですけども、総合計画審議会というのは計画を作るときにだけ必要というものか？ 8年の計画を策定されたら8年後に審議会があるということでもよろしいでしょうか？
事務局	はい。総合計画の審議会の方は策定するまでが委嘱期間となります。
委員	大体何回程度を予定されているか？
事務局	今の想定では5回程度を考えています。
委員	過去はどのような感じで進められていたんですかね？現状、計画に対するできた・できなかったはあると思いますが、そういうのがお示しがあつての審議になるのか？ どういう審議をして良いのかなというのもありまして。戦略と似通った形にはなっていくのかなとは思いますが... 計画に対してこうだ、だからこういう計画にしていって審議をお願いしますという形になるんですよね？
事務局	今までの計画についてこういった実績がありましたといった前計画の振り返りというところもありながら、アンケートを取った結果を反映した原案をつくり審議いただく予定です。
委員	今まで人口減とかそれに対する対策とかを行ってきていると思いますし、まちづくり、介護等いろいろやってきている。普遍的にあるものと思うんですよね。それに対してどうだからこういう計画を立てていきますという部分もあるわけですよね？それを審議する？そういうイメージで良いですよね？それをもうちょっと枝葉をする戦略委員会を作ってより具体的に深堀していくという感じで推進委員は年に2～3回ぐらいあつていくという形で良いですかね？
事務局	先ほど兼任という言い方だったので、それぞれというイメージだったかと思いますが、今度の総合計画の策定がイコール次期総合戦略を作っていく形ですので、兼任といいますか総合計画審議会の中で策定を行って、総合戦略推進委員も同じ位置づけでした方が良いのかなと今は考えています。委員さんについては総合戦略・総合計画イコールで考えています。
委員	それはいいんですけど、今後また同じように計画に基づいた戦略をこういう場を年に2～3回していくというイメージで良いですよね？
事務局	そうですね。はい。総合戦略の検証が実施計画の検証に代わるというか同じ位置づけですけどもそういった形。策定の部分ではピラミッドの三角の部分がありましたけども、ある程度大きな将来像といったものは市民の意見等も聞きながら今年度からその部分は始めようと思っています。その辺の大きな将来像、今現在は「歓声が響きあう嬉野市」というキャッチフレーズといいますか、そういった部分は市民と一緒に色々な意見を聞きながら掲げて、その下の計画、あがってきたもの市が率先してやりたいもの提案をさせていただいて最終的には総合計画審議会でご承認いただくという形で、具体的な部分でいきますと今までどおり総合戦略と同じような形で作り上げていくイメージは

		しております。
議長		これまでは全く別の2つのものを別々の会議体を中心に作っていたものを、一つになるのでこの場をベースとした会議体で一つ総合計画兼総合戦略を作りますよ。という話ですよね？
事務局		はい。
議長		総合戦略の冊子はできるのですか？
事務局		個人的にはデータがあれば... と思いますが、一応、最終的には大体500部くらいは製本しているみたいなので500部は製本予定です。計画の後ろの方に参考資料がついてくるんですが、そういった中に総合戦略イコール実施計画が入ってくる形を考えています。
議長		総合戦略・実施計画まで入った冊子体となるとすごいボリュームになりますよね？今、基本構想と基本計画で一つの総合計画の冊子ですよね？実施計画載らずに。そこに実施計画兼総合戦略まで載せたら紙だとかなりのボリュームになるかな。
事務局		一番最初に作られた総合計画の冊子は第2次後期計画の3～4倍の厚みがあります。文字自体も結構大きめであったとは思いますが。高齢化社会のことを考慮すればちょっと小さかったかなとも思いますが、たぶん第1次計画を作ったときは、時代の流れもありますけども最上位計画ということもあり、かなりの数、冊数をお配りしたと思いますけどもそれと比べたら第2次総合計画は中身もシンプルですし、それぞれの分野の個別計画もありますので、ここに全部ぎゅっと集約して中身を厚くすることは最近の作り方ではそうじゃないのかなと考えています。大きな概念的な部分と次期計画では総合戦略を取り込んだところでの総合計画ということで考えています。そこら辺もご意見いただければ... 例えば「印刷せんでもよかとやなか」とかですね。
議長		そうですね。「印刷なし」もあるし、「簡易版だけ印刷」もあるし、戦略だけデジタル、全部デジタル、色々あると思うので... 全部印刷は非現実的かなと思います。
委員		基本計画まではある程度動かないのでしょうか、下はころころ変わると思うので...
事務局		それもあるので、それでいけばデータがあれば良いのかなと思います。
委員		例えば計画策定であつたりとか配るべき人間には一部の部分だけをペーパーにして渡すぐらいで良いと思います。
議長		私もそれぐらいで良いと思います。
事務局		参考にさせていただきます。予算的な部分でも大分変わってくると思うので圧縮できれば...
委員		デジタル版で十分な気が...

	議長	次第 3. その他ですが、事務局より議事ございますでしょうか。
	事務局	追加の提案等は特にございませんが、先ほど総合戦略の期間を 2 年間延長したいという話がありましたが、それについては今回のこの場で承認いただきたいと思いますと考えています。いかがでしょうか？
	議長	今後、空白なく進めていくためにそれが良いという事務局の判断・提案だと思いますので、私としては良いと考えますが皆さんいかがでしょうか。
	委員	異議なし。
	事務局	ありがとうございます。 一点すみません。総合計画ですけれども、これについては何月からとかそういうのが無いですが、今現在のまわりとしましては、後期が 2022、2023、2024、2025 年で先ほど議会の話がでましたけれども最上位計画ということで議会の承認が必要であるという位置づけになっています。後期の時も 2022 年の 6 月に承認をいただいています。今回提案をしたのが、令和 7 年度までで後期が終わりますので、繋がりを持たせるのであれば、令和 8 年度の 4 月 1 日からということにはなりますが、市長任期だとか、市長の政策を計画に盛り込むとか、どうしても選挙時期の関係で 4 月 1 日からできない状況がございます。今回提案をしているのは、令和 8 年の 9 月議会にかけると、あと倒しになるということですが、市長と打合せをしたところ令和 8 年の 10 月に新庁舎が開庁し、新しい行政サービスの初年度という位置づけで色々な事業展開を行っていくこと、市民サービスであったり、市役所の業務改革についてもそういった考えを持っています。今からの人口減、職員の働き方改革もそうですし、市民サービスの利便性の追求だとかも含まれてきますのでそこら辺は第 3 期総合計画のスタートも令和 8 年 10 月としたいということもあり、そういう方向で進めていこうと考えております。ご意見等あればお伺いしたいと思います。
	議長	総合計画には期間はないんですつけ？総合戦略に関しては穴が開かないように今回手当を考えている。総合計画については、そのような手当が必要ない？
	事務局	必要ないと考えています。対外的な議会をはじめとした令和 7 年度までとなっているが取り掛からなくてよいのかといった話はでてるのかなと思いますが、そこは丁寧に説明していくべきかなと思っています。
	議長	よろしいでしょうか。それでは本日予定の議事については全て終了しました。以後の進行は事務局にお返しいたします。皆様、本日はありがとうございます。
その他	今後の委員会予定について説明 次回は R7. 2～3 月年度末頃、改訂に向けた内容について協議・検討予定。	